

P. 1	「別紙（様式12・様式14）MRI検査における医療器具・インプラント等の安全性」									
	種類	詳細	対応磁場強度		取り外して可能	力学的作用（引っ張られる）	火傷のおそれ	機器の誤作動、故障	画像への影響	
1.5T			3.0T							
禁忌	移植蝸牛刺激装置（人工内耳）		△ (製品による. 添付文書参照)	○	×	○	○	○	○	
	神経刺激器									
	埋め込み型プログラマブル注入ポンプ									
	骨成長刺激装置									
	目に位置する鉄片など	目の周辺に鉄片などの磁性体がある場合								
	弾丸等の強磁性体	銃弾はどの部位でも禁忌								
	磁性アタッチメントの義歯	磁石部分が脱着不能なものは不可(磁力が弱まる)								
	美容整形の金糸	一般的に禁忌だが、治療を行った病院で確認すること								
	上眼閉瞼障害に用いる金の重り	眼に装着する金の重り								
	乳房組織拡張器	ティッシュ・エキスパンダーは磁石部分が存在しているので禁忌								
	骨髄穿刺針（骨内注入用針）	加熱・アーチファクト等への安全性が確認されていない								
	膝の十字靭帯再建	Perfix interference screwは強磁性体で禁忌								
	血管内デバイス	スワンガンツカテーテル（溶けた例あり）								
条件付きであるが禁忌であるが	脳深部刺激装置	条件付きMRI対応のみ可能、添付文書の条件の確認が必要	△ (製品による. 添付文書参照)					○	○	
	脳シャントチューブ	磁力で流量調節が可能なシャントチューブは検査後に設定確認が必要	○	×					○	○
	脳外科手術用器具（コイル・1985年以降製のクリップなど）	1985年以前施行のものは頭部XP施行し、脳神経外科へ要連絡	○	○						○
	条件付きMR対応ペースメーカ、ICD、CRTD	依頼医師から循環器医師に依頼する（院内のマニュアルに沿って） 埋め込み後、6週間過ぎていること ペースングリードのみは禁忌	△ (製品による. 添付文書参照)					○	○	○
	埋込型心臓モニタ	(電子カルテ内プロファイルビューアを要確認) 機種により制限が異なる 下記参照								
	・Reveal LINQ	検査時にMEによる装置チェックが必須 (電子カルテ内のプロファイルビューア参照)	○	○						○
	・バイオモニターⅢ	検査時にMEによる装置チェックが必須 (電子カルテ内のプロファイルビューア参照)	○	○						○
	・SJM Confirm Rx ICM	検査時にMEによる装置チェックが必須 (電子カルテ内のプロファイルビューア参照)	○	×						○
	・その他	上記機種以外は不可	×	×				○		○
	心臓の人工弁	Star-Edward600番以前(1970年以前)の製品は禁忌 現在の人工弁は問題ないとされている	○	×						○
	埋込型脊髄刺激装置(SCS)	日勤帯に限り、過去にMR検査を行ったことがある・もしくは当院でSCSを入れていて安全が確認出来るのであれば、検査可 (安全が確認出来なければ、脳外科に連絡)	△	×						○
	内視鏡クリップ	オリンパス社製クリップは検査可能。 (当院のクリップはオリンパス社製のみ採用) その他のクリップで体外への排出が確認出来ないときは腹部Xpによる確認もしくは消化器内科へコンサルト (ただし過去に医療事故報告はない)	△ (左記を参照)			○	○	○		○
	温度センサー付き膀胱留置カテーテル	15分以内の撮影は可能 (撮像時間を検査室に要相談)	△ (撮像時間を検査室に要相談)			△ (中継ケーブル・モニタを外す)	○	○		
	ハローベスト	MRI対応のものであれば可能	○	×						○
	胸骨ワイヤー	熱感を感じたら検査中止 (添付文書などで安全性が確認できたら3T可能)	○	△ (添付文書などで安全性が確認できたら可能)				○		○
	入れ墨	火傷の可能性あり、本人に同意を得た上で検査する	○	×				○		
	金属尿管ステント	RUSCH Tumor尿管ステントは3Tまで その他は1.5Tも不可	△	△				○		○
	人工肩関節および肩人工骨頭	メーカーによって可能なものがある。整形外科の診察が必要（別紙参照）	添付文書に記載なし			○	○	○		○